第2期行財政改革プログラム　個別取組工程表

所管	財政	局	財政	部	財政	課
項目	2-6	補助金、単独扶助、負担金等の見直し				
実施内容	社会情勢や市民ニーズの変化等を踏まえ、事業の必要性、効果・公益性等の観点から、予算編成などの機会を捉えて定期的に見直しを行います。					
目標	社会情勢や市民ニーズの変化を踏まえた補助金、単独扶助、負担金等の適正化 （平成27年度追記）					

工程		26年度	27年度	28年度	29年度
	当初予定	←→	予算編成の中で見直しを実施		←→
	進捗状況 （実績・見込）	←→ 平成27年度当初予算編成において、補助金の廃止や削減を実施	←→ 平成28年度当初予算編成において、補助金の廃止や削減を実施	←---	---→ 予算編成の中で見直しを実施

数値目標		26年度	27年度	28年度	29年度
－	見込	－	－	－	－
	実績	－	－		

実績		
	27年度	前年度に引き続き、財政局長名での「平成２８年度の予算編成について」にて、重点的に取り組む事項として「補助金・負担金の見直し」を掲げており、また、単独扶助についても、予算要求にあたり、各課にて社会経済環境の変化等を踏まえ、個々の事業の必要性や効果を検証し、廃止も含めた見直しを行うよう指示を行い、予算編成過程の中で、個別に補助金の廃止や削減を実施した。

単年度の効果額見込及び実績		26年度	27年度	28年度	29年度
	見込	－	－	－	－
	実績	257 百万円	191 百万円		

評価				
	27年度	B	課題	個々の事業の必要性や効果の検証を通じて、社会経済環境の変化等に応じた制度の見直しを進める必要がある。
			改善策	予算編成過程での見直しに加え、事務事業の総点検や行財政改革プログラムなどの、様々な機会を通じて見直しを行って行く。

評価基準	A:目標を上回って達成　B:目標を概ね達成　C:未達成
備考	